

19年度の主な事業と予算

○災害復旧費 3億6,129万円

昨年12月の大雨災害による道路などの復旧工事を行います。



○民生費 3億3,404万円

少子高齢化社会に対応した、子育て支援や福祉サービスを進めます。



○総務費 3億2,906万円

村有財産管理や役場庁舎などの費用に使います。



○農林水産業費 2億1,987万円

漁港整備や農林業、観光物産事業、ふだいまつりなど村の振興のために使います。



**農林水産業費に
約2億2千万円**

5番目は産業基盤のための農林水産業費2億1,987万円(9.3%)です。

額の大きなものは県営普代地区農地開発事業の債務負担金6,674万円、広域漁港整備事業地元負担金(太田名部漁港)3,000万円、地域水産物供給基盤整備事業(白井漁港)2,820万円などです。そのほかは▽北緯40度ふだいまるごと観光物産事業2,000万円▽新しいわて農業担い手

支援総合対策事業補助金に1,511万円▽いたけ等特用林産物生産施設整備事業1,720万円▽ふだいまつり開催事業補助金1,200万円―などです。

**特別会計は
20・1%の増**

特別会計は一般会計と区別して経理した方が分かりやすいものを、特別会計としています。全部に共通するのが、料金収入があるということです。19年度の村の6特別会計の

予算総額は11億6,690万円で、前年度と比べ0.8%減っています。

**小さな村の
大きな未来づくり**

国では、19年度を今後5年間の新たな改革に向けた出発点となる重要な年と位置づけ、歳出の徹底した見直しを行うこととしています。地方交付税の減額など、村は厳しい財政環境の下、今後事業の優先度、緊急度によりさらに厳選された事業の選択が必要となってきます。

事業の選択に当たっては、もちろん村民の皆さんの要望、提言などを十二分に踏まえて行いますが、なによりも大切なのは、村民の皆さんの「地域づくりへの積極的な協働・参画」です。

「北緯40度東端の地球村ふだい」の自然、産業、歴史、文化、そして1次産業を大事に育て、豊かな海の恵みを生かした「つくり・育てる事業」を推進するなど、この「小さな村」の「大きな未来づくり」に、多くの村民の皆さんと協働し、進まなければなりません。

■特別会計

特別会計名	予算額	伸び率
国民健康保険	5億2,110万円	14.2%
国民健康保険診療施設(医科・歯科診療所)	2億1,170万円	▲1.4%
簡易水道	6,800万円	1.0%
休養施設(くろさき荘、緑の村)	8,210万円	▲28.6%
老人保健事業	2億5,790万円	▲6.9%
漁業集落排水事業	2,610万円	1.6%
合計	11億6,690万円	▲0.8%